TOSTEM トステム株式会社

アレスポート600形(一般地域用)　取付け説明書

●この説明書は、施工完了後お施主様にお渡しください。

■施工される方へのお願い

⚠警　告

■設置条件
●建物側の屋根からの落雪による破損防止のため、落雪が製品に直接当たらない場所に取り付けてください。
●風の強い場所及び、積雪の多い場所では補強のため、補助柱(別売り品)を取り付けてください。
●サイドスクリーン取付け時には、補助柱(別売り品)を取り付けてください。

■部材の固定
●タッピンねじの下穴には、指定された下穴より太いドリルを使用しないでください。(4mmのねじに対し3.5mm、5mmのねじに対し4.5mmのドリルであけてください。)
●必ず指定の組立てねじ・ボルトを使用してください。又、施工終了後、ねじ・ボルトに緩みがないか再点検してください。

■施工時の足場について
●取付け時は、製品の屋根にはのらないでください。

⚠注　意

■設置条件
●本製品は一般地域用です。積雪の多い地域には取り付けないでください。
一般地域用600形…積雪20cm以下の地域
崖の側など、風が吹き上げる場所には設置しないでください。製品が破損するおそれがあります。

■基礎について
●基礎の大きさは、指定寸法以上にしてください。
●地下埋設物(給排水管など)に影響を及ぼさないようご注意ください。
●コンクリート(またはモルタル)には海砂や急結剤は絶対に使用しないでください。アルミが腐食するおそれがあります。
●柱内の水抜きができるよう、柱基礎には必ずぐり石を敷いてください。また柱の根元にも水抜き穴(φ6)をあけてください。
●養生期間は十分(4日〜1週間)とり、その間重い物をのせたり、振動させたりしないようご指示ください。

■絶縁処理について
●アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触する時は、絶縁処理をしてください。

■屋根パネルについて

交換・修理について

通常の取扱いによって生じた不具合については、原則として当社の責任において交換・補修しますが、下記の場合は責任を負いかねますので十分にご注意ください。
●当社が表示した「■施工される方へのお願い」及び、「■お施主様へのお願い」を守っていなかった場合。
●当社が表示した以上の性能を必要とする用途や個所(地域)に製品を設置した場合
●工事上の欠点があった場合
●製品に他の構成材を加えたり、又は規格外に加工して製品の形態を変えている場合
●風・雪による落下や飛来による損傷
●製品の表面に、特に塩害や大気中の砂じんやばい煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどの反応物質が付着して起こる腐食
●不可抗力(天災・地変・異常気象〔風・雪・水害など〕地盤沈下・火災・騒乱など)による場合
※本製品は一般地域用です。
一般地域用600形…積載荷重600N/m²(61.2kgf/m²)
又、本製品はJIS規格同等品です。強度・耐久性などの品質についてはJIS製品と変わりありません。

■お施主様へのお願い

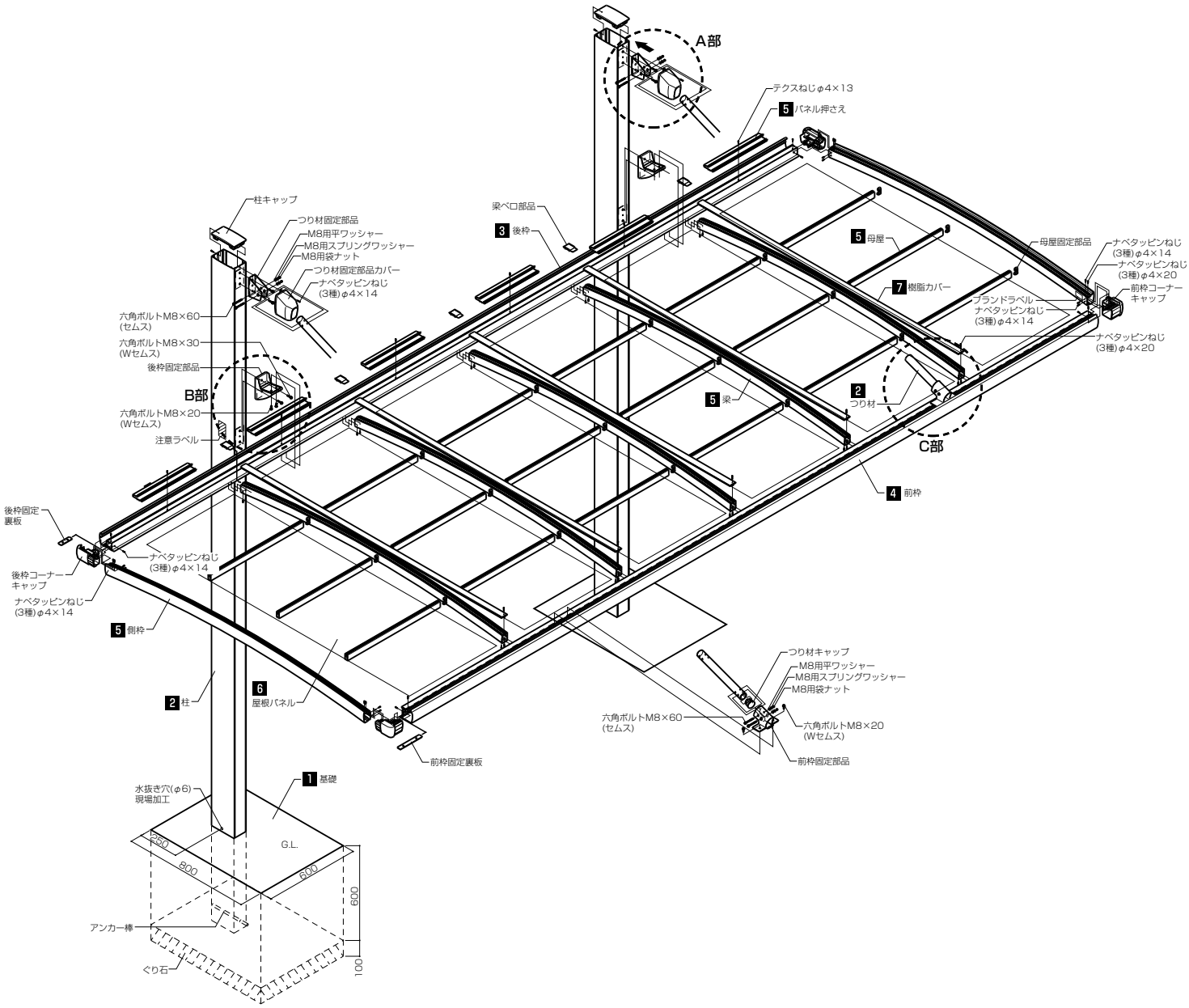
⚠警　告

●電灯線などの電線を巻き付けないでください。漏電するおそれがあります。
●積雪量が20cmになる前に必ず雪下ろしをしてください。危険です。
※雪下ろしなどの際屋根には絶対にのらないでください。

お手入れ・問合わせ先について

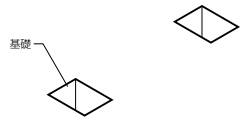
【建物の立地条件と清掃回数】
●腐食・サビ防止のため、年1〜2回定期的に水洗いし、空ぶきしてください。工業地帯・海岸地帯などの場合は清掃回数を増やしてください。
●清掃には布やスポンジなどの柔らかいものをご使用ください。金属製ブラシや金ベラは絶対に使用しないでください。製品の表面に傷が付き、腐食が早まります。
●中性洗剤以外使用しないでください。酸性・アルカリ性のものはアルミ表面の保護膜を侵し、サビの原因となります。
・汚れの軽い場合…ぞうきんで水ぶきします。
・汚れのひどい場合…薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、洗剤が残らないよう水洗いし、空ぶきします。
・著しく腐食しサビがでた場合…中性洗剤を付けたナイロンたわし又は、目の細かい紙ヤスリで部分的に軽くこすり、汚れやサビを取り除きます。水洗いして乾燥させた後、塗料のはげた部分をタッチアップ塗料やスプレー塗料で塗装してください。
※タッチアップ塗料やスプレー塗料は、色調の近い車用の補修塗料をお使いください。
●屋根パネルの取替え…古くなった屋根パネルは早めに当社指定品に取り替えてください。強風その他の衝撃を受け、破損するおそれがあります。屋根パネル端部やねじ穴周辺に亀裂が生ずる等老朽化してきた場合はただちに交換してください。
※殺虫剤や農薬をアクリルパネルの近くで散布すると、亀裂が生じるおそれがありますのでご注意ください。

■構造説明図

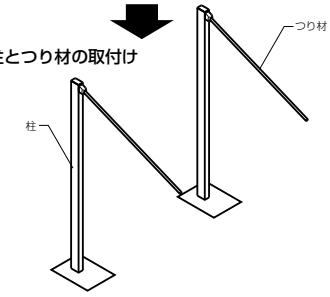


■組立て手順

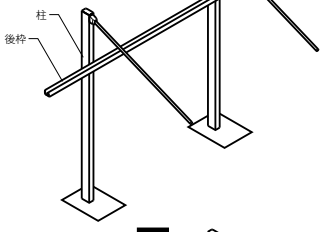
1 基礎の施工



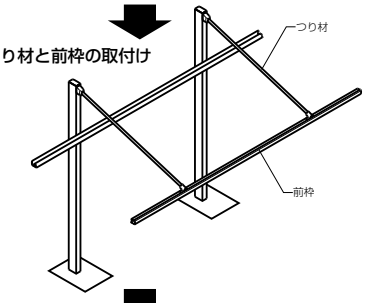
2 柱とつり材の取付け



3 柱と後枠の取付け

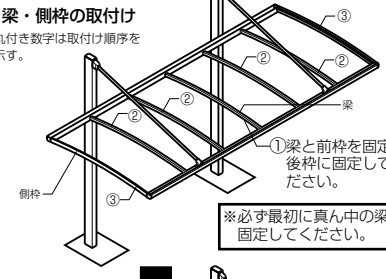


4 つり材と前枠の取付け



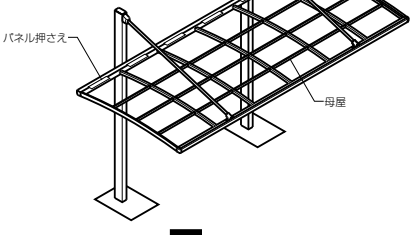
5 梁・側枠の取付け

※丸付き数字は取付け順序を示す。

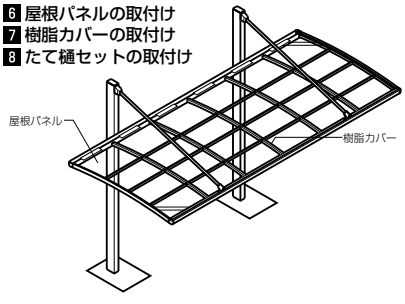


※必ず最初に真ん中の梁を固定してください。

5 母屋・パネル押さえの取付け



6 屋根パネルの取付け
7 樹脂カバーの取付け
8 たて樋セットの取付け



■取付け手順(基本タイプ)

1 基礎の施工

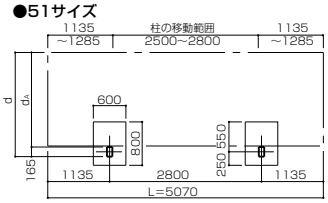
●柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。

(単位：mm)

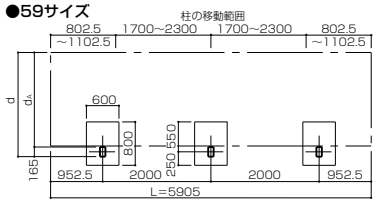
サイズ呼称	d	d_A
24	2390	2225
27	2685	2520
30	2970	2805

■墨出し位置

●51サイズ



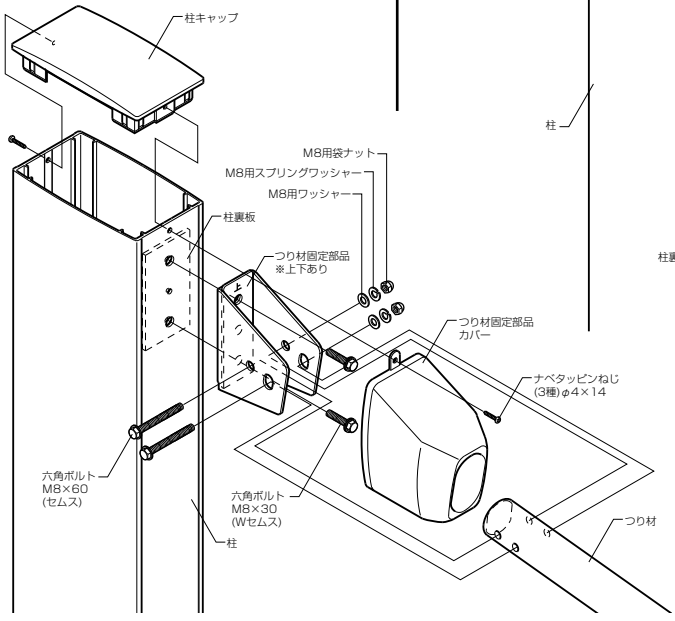
●59サイズ



2 柱とつり材の取付け

❶つり材固定部品・つり材・つり材固定部品カバーを柱に取り付けます。
❷柱キャップ・アンカー棒を取り付け、柱を建て込みます。
※つり材カバーは、必ず前枠より先に取り付けてください。
※つり材固定部品には、上下があります。刻印側を上にして取り付けてください。
※つり材カバーは、つり材を少し持ち上げながらはめ込んでください。
※つり材固定部品カバーは、つり材固定部品に引っ掛かるまで押し込んでください。

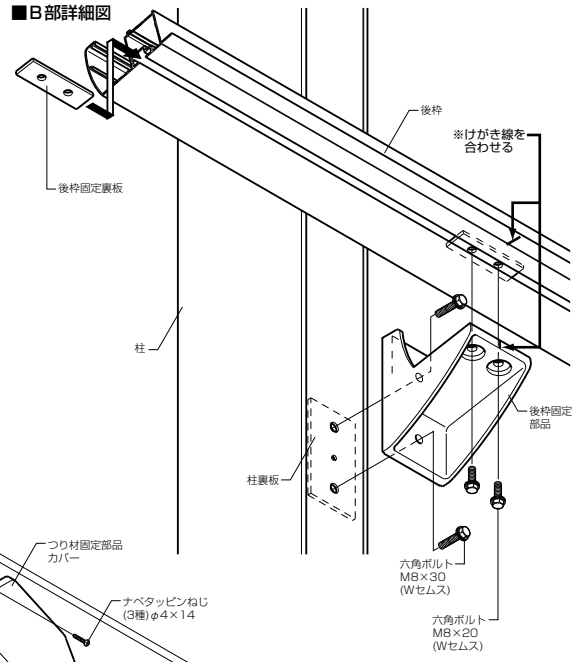
■A部詳細図



3 柱と後枠の取付け

❶後枠固定部品を柱に取り付けます。
❷後枠に後枠固定裏板を入れます。
❸後枠と後枠固定部品のけがき線同士を合わせ、固定します。

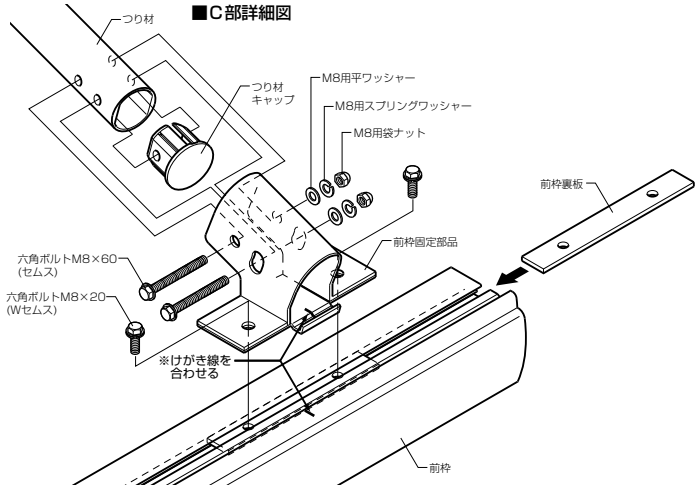
■B部詳細図



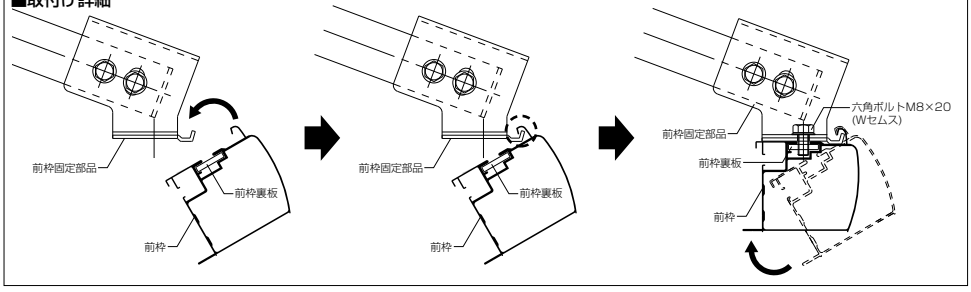
4 つり材と前枠の取付け

❶つり材先端につり材キャップをはめ込んだ後、前枠固定部品を取り付けます。
※前枠固定部品取付け後はつり材キャップは固定できません。
❷前枠に、前枠裏板を入れます。
❸前枠固定部品に前枠を引っ掛け、けがき線同士を合わせてボルト止めします。

■C部詳細図

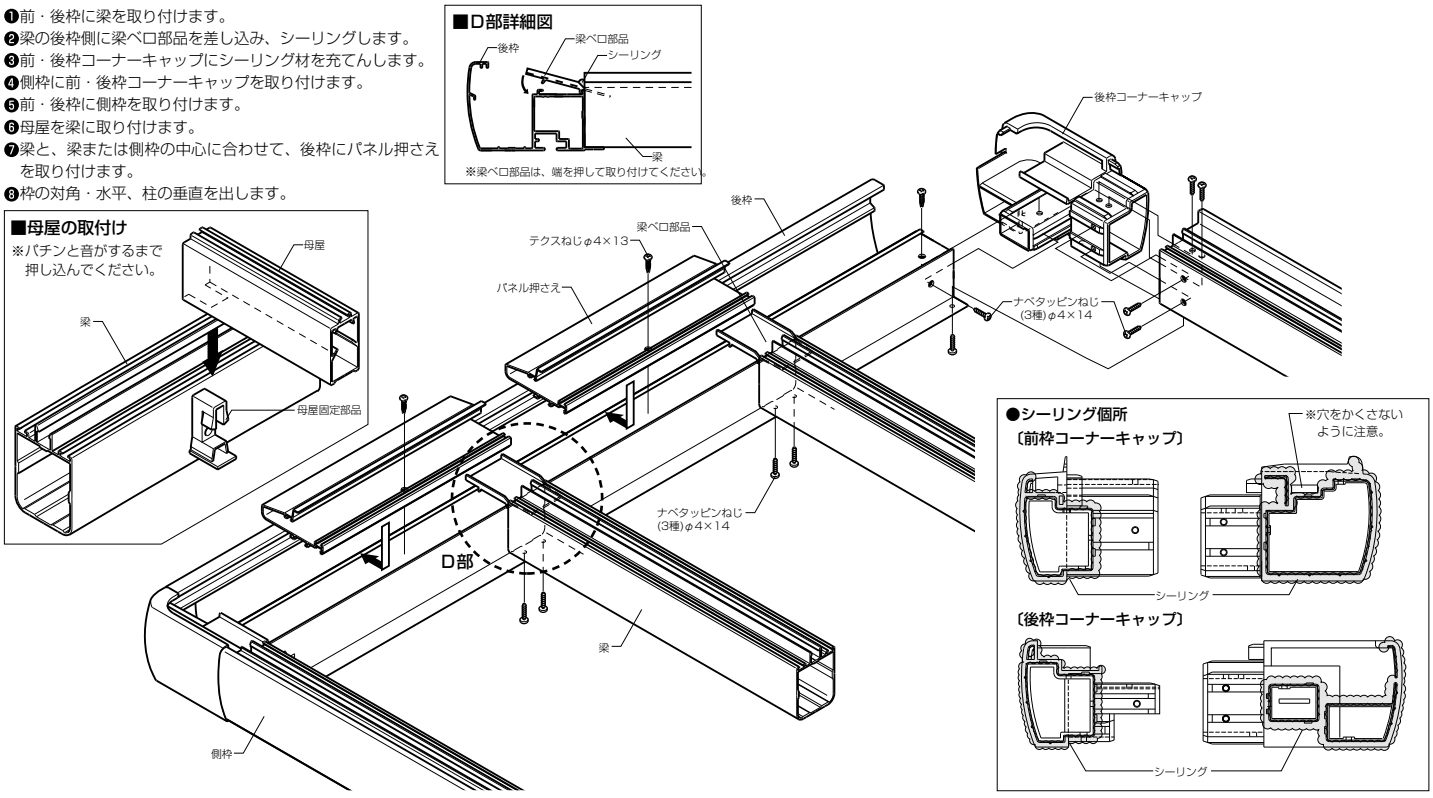


■取付け詳細



5 梁・側枠・母屋・パネル押さえの取付け

❶前・後枠に梁を取り付けます。
❷梁の後枠側に梁ベロ部品を差し込み、シーリングします。
❸前・後枠コーナーキャップにシーリング材を充てんします。
❹側枠に前・後枠コーナーキャップを取り付けます。
❺前・後枠に側枠を取り付けます。
❻母屋を梁に取り付けます。
❼梁と、梁または側枠の中心に合わせて、後枠にパネル押さえを取り付けます。
❽枠の対角・水平、柱の垂直を出します。



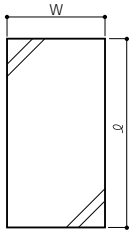
6 屋根パネルの取付け

❶屋根パネル端部にグレチャンを取り付けます。
❷前枠に水平に差し込み、後枠側をパネル押さえの透き間に差し込みます。
❸梁部ののみ込みを左右均等(12mm)にします。

●屋根パネル寸法

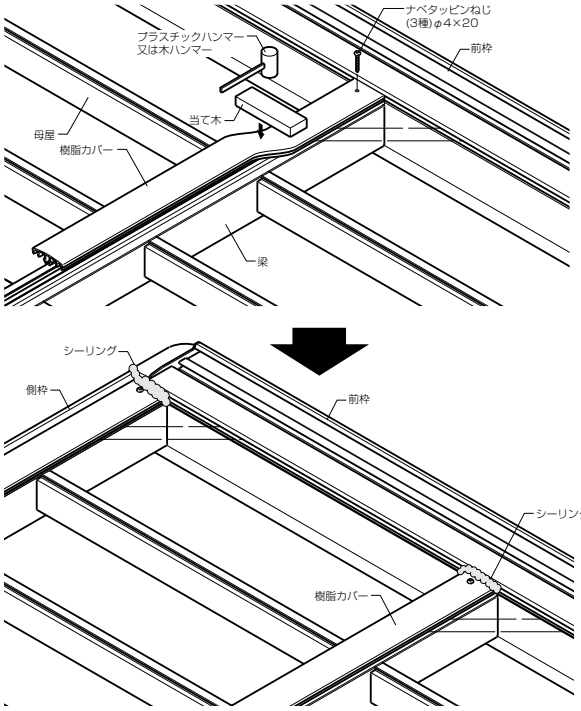
(単位：mm)

サイズ呼称	W	ℓ
24	819	2130
27		2435
30		2740



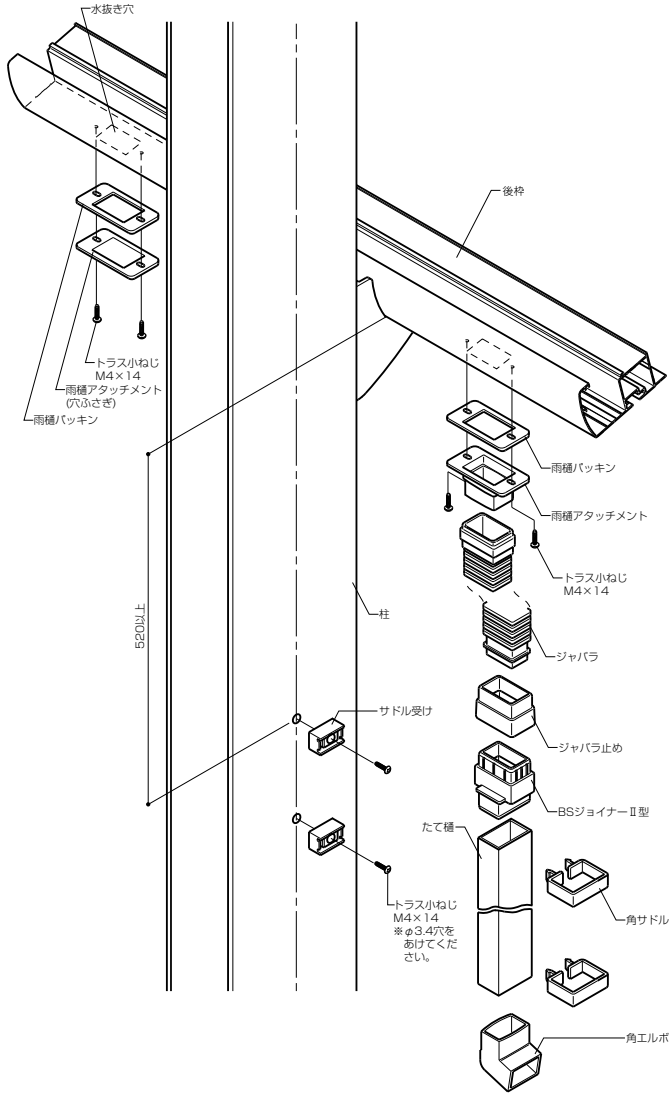
7 樹脂カバーの取付け

●樹脂カバーで屋根パネルを固定します。
❶樹脂カバーの斜めカット側を前枠の透き間に4mm程差し込みます。
❷前枠側から長さの3分の1程たたき入れた後、後枠側を差し込み、全体をたたき入れます。
❸前枠側の透き間をシーリングします。
※必ず形材と樹脂カバーのはめ合わせ位置があっている事を確認してください。
※必ず当て木をし、プラスチックハンマー又は、木ハンマーでたたき入れてください。

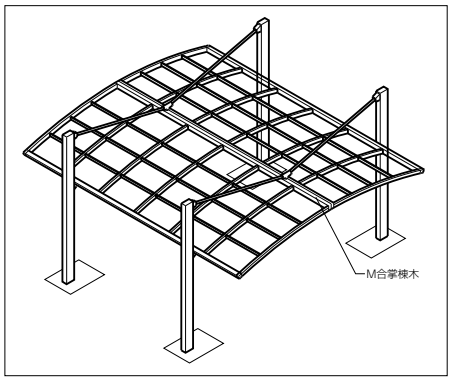


8 たて樋セットの取付け

❶後枠両端にある水抜き穴のどちらかにたて樋セットを取り付けます。
❷もう一方の水抜き穴に雨樋アタッチメント(穴ふさぎ)を取り付けます。

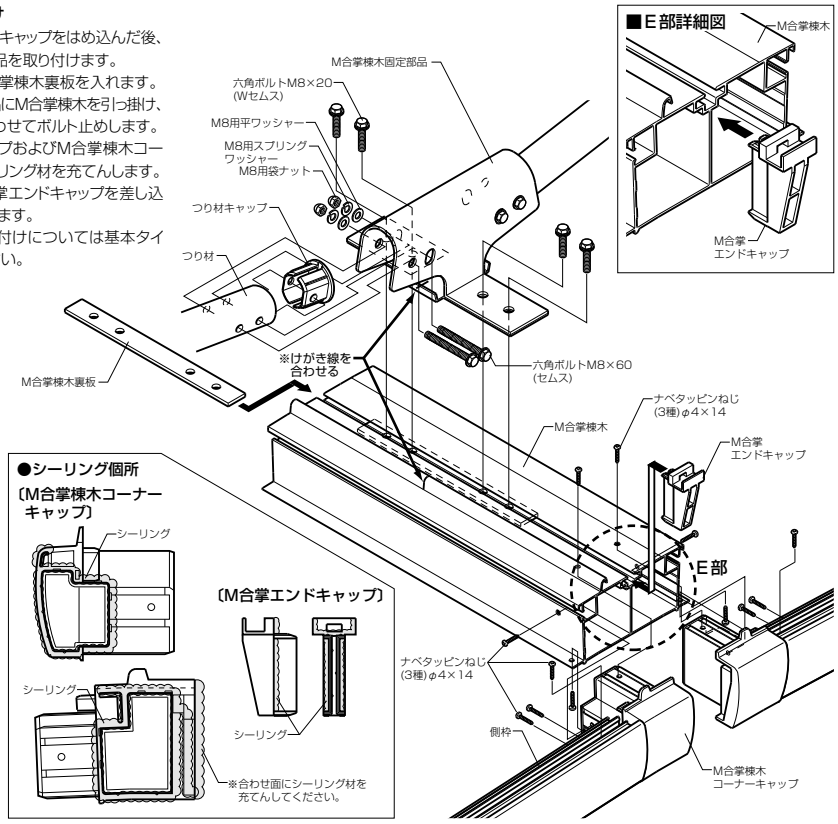


■M合掌の取付け手順



■M合掌部の取付け

❶つり材先端につり材キャップをはめ込んだ後、M合掌棟木固定部品を取り付けます。
❷M合掌棟木に、M合掌棟木裏板を入れます。
❸M合掌棟木固定部品にM合掌棟木を引っ掛け、けがき線同士を合わせてボルト止めします。
❹M合掌エンドキャップおよびM合掌棟木コーナーキャップにシーリング材を充てんします。
❺M合掌棟木にM合掌エンドキャップを差し込み、側枠を取り付けます。
※M合掌部以外の取付けについては基本タイプを参照してください。

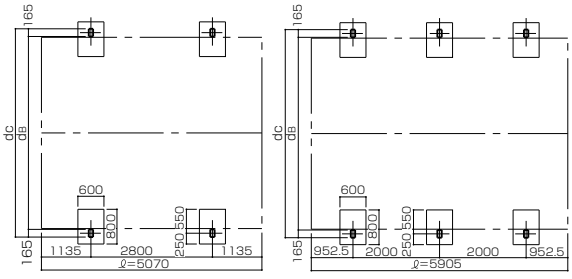


■基礎の施工

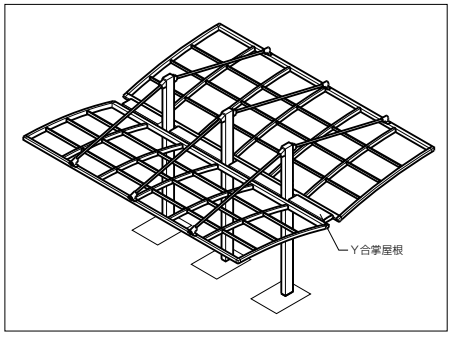
●柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。
※基礎構造については構造説明図を参照してください。

(単位：mm)

サイズ呼称	dc	dB
24-24	4756	4426
27-27	5346	5016
30-30	5916	5586

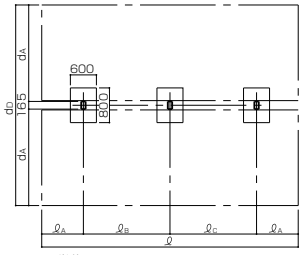


■Y合掌の取付け手順



■基礎の施工

●柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。
※基礎構造については構造説明図を参照してください。



(単位：mm)

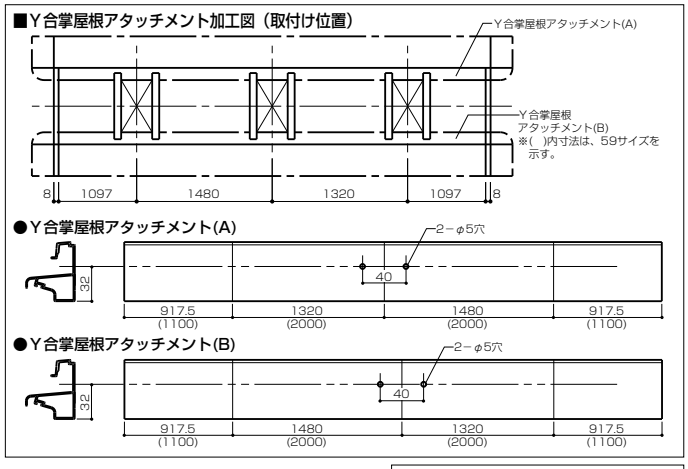
サイズ呼称	dD	dA
24-24	4615	2225
27-27	5205	2520
30-30	5775	2805

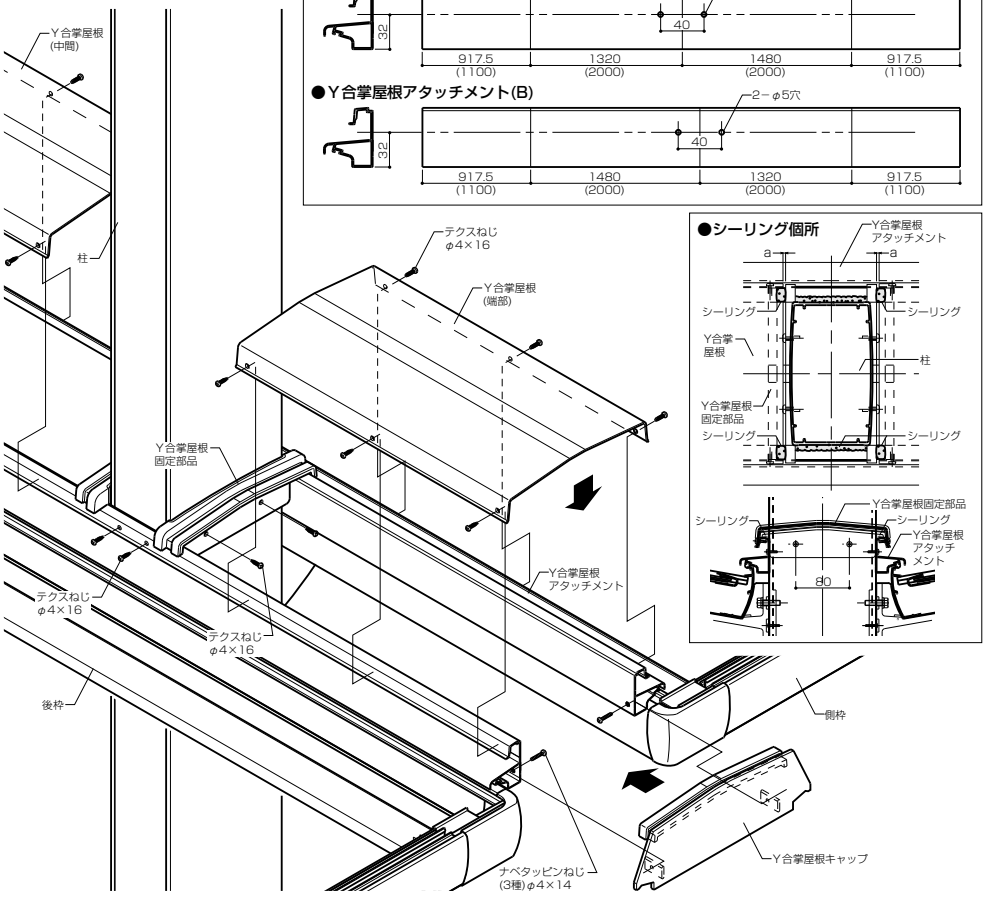
(単位：mm)

サイズ呼称	ℓ	ℓA	ℓB	ℓC
51	5070	1135	1480	1320
59	5905	952.5	2000	2000

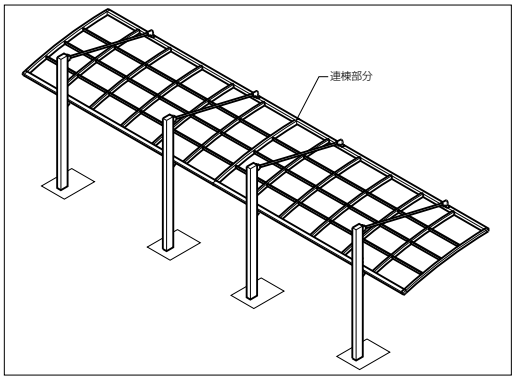
■Y合掌部の取付け

【お願い】51サイズの場合は、つり材と梁との干渉を避けるため、中央の柱位置を左右どちらかへずらしてください。
❶Y合掌屋根アタッチメントを加工します。
❷Y合掌屋根アタッチメントを後枠にのせ、テクスねじで固定します。
※柱との透き間にシーリング材を充てんしてください。
❸Y合掌屋根固定部品とY合掌屋根アタッチメントの透き間にシーリング材を充てんします。
❹Y合掌屋根固定部品をY合掌屋根アタッチメントの上に乗せ、テクスねじで柱に固定します。
❺Y合掌屋根をY合掌屋根アタッチメントの上にテクスねじで固定します。
※Y合掌屋根とY合掌屋根固定部品との透き間aは、左右均等(3mm)にしてください。
❻Y合掌屋根の両端部にY合掌屋根キャップを取り付けます。
※Y合掌部以外の取付けについては基本タイプを参照してください。





■縦連棟の取付け手順



■基礎の施工

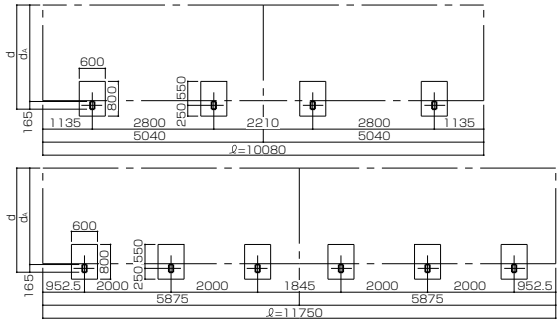
●柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。

※基礎構造については構造説明図を参照してください。

(単位：mm)

サイズ呼称	d	dA
24	2390	2225
27	2685	2520
30	2970	2805

●墨出し位置



■縦連棟部の取付け

❶前・後枠(縦連棟側)を加工します。

❷縦連棟部にシーリング材を充てんします。

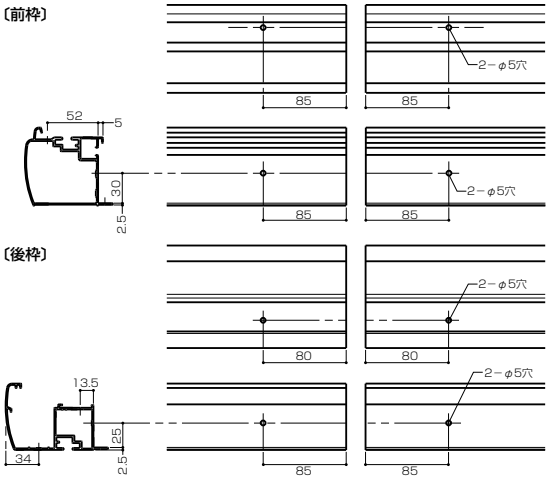
❸前枠連棟スリーブ材と前枠、後枠連棟スリーブ材Ａ・Ｂと後枠を固定します。

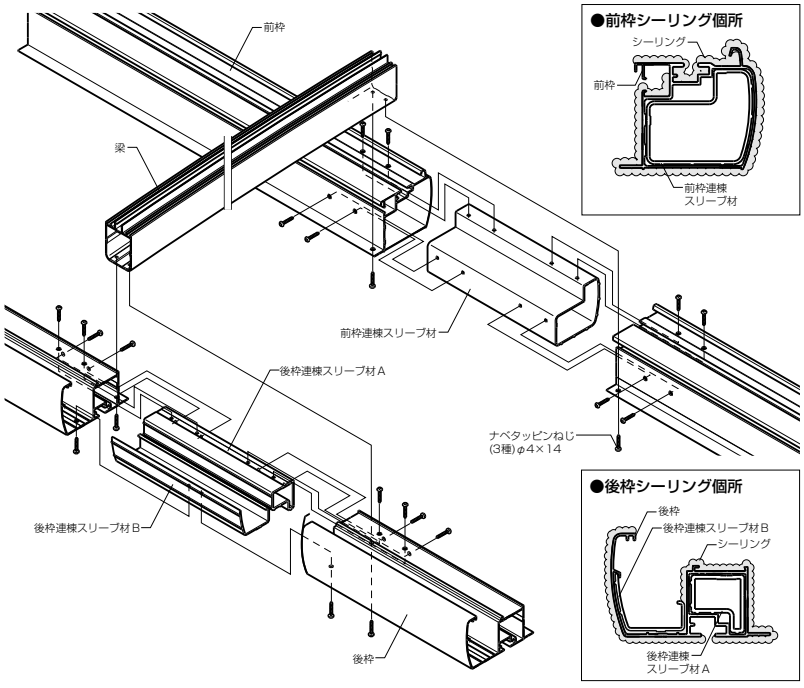
❹梁を取り付けます。

※縦連棟部以外の取付けについては基本タイプを参照してください。

●前・後枠加工図(縦連棟側)

〔前枠〕





■縦連棟(M合掌)の取付け手順

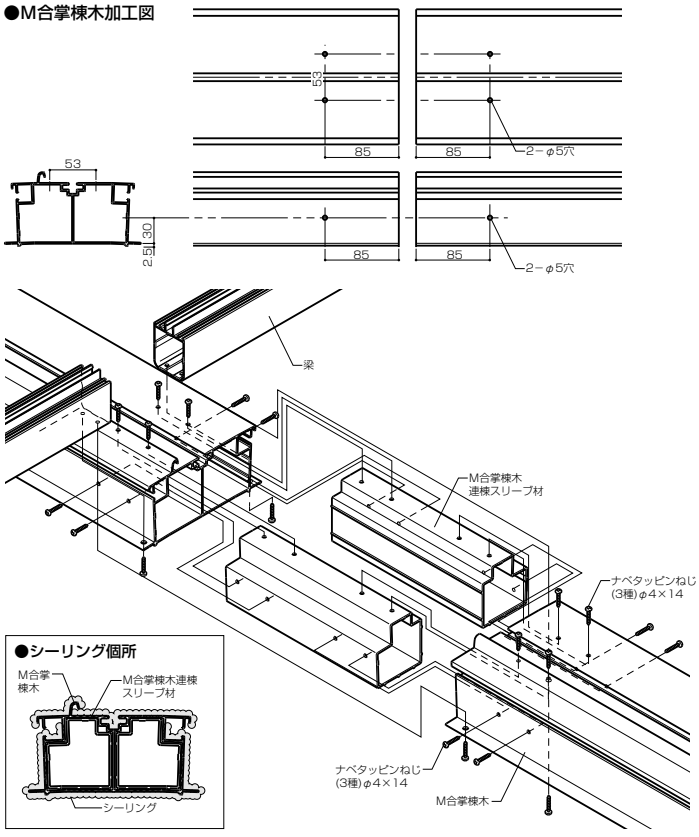
■縦連棟部(M合掌)の取付け

❶M合掌棟木・後枠(縦連棟側)を加工します。

❷縦連棟部にシーリング材を充てんし、図に従って連棟します。

※後枠については、上記を参照してください。

●M合掌棟木加工図



■縦連棟(Ｙ合掌)の取付け手順

■縦連棟部(Ｙ合掌)の取付け

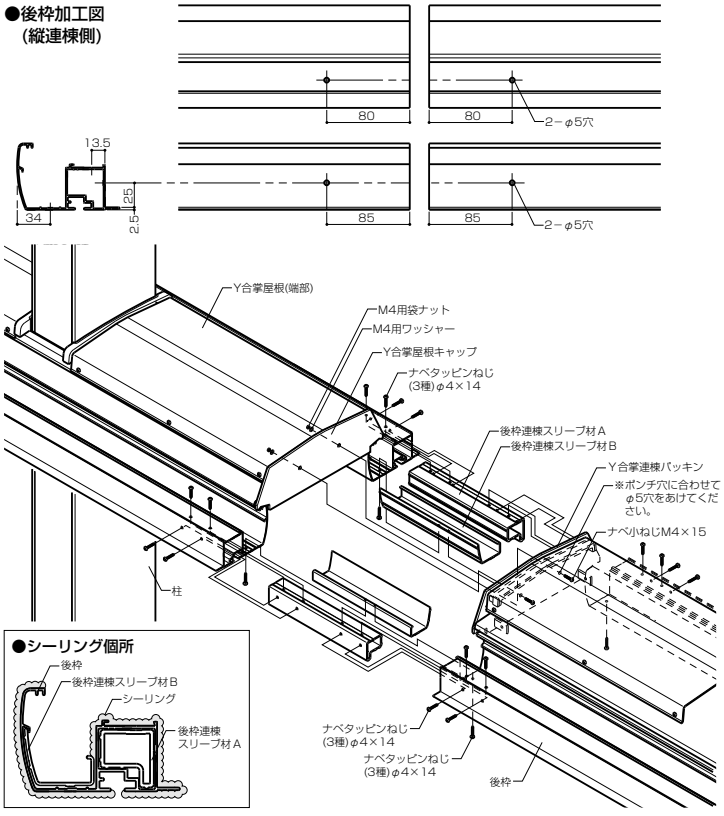
❶前・後枠(縦連棟側)を加工します。

❷Ｙ合掌屋根キャップ(縦連棟側)をポンチ穴に合わせて加工します。

❸縦連棟部にシーリング材を充てんし、図に従って連棟します。

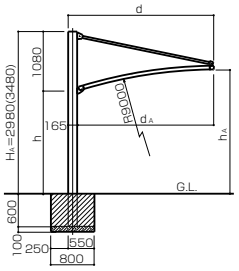
※前枠については、上記を参照してください。

●後枠加工図
(縦連棟側)



■納まり参考図

■基本タイプ



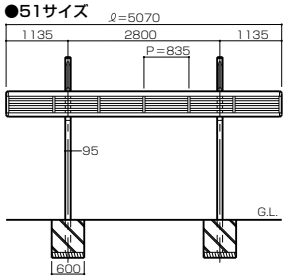
(単位：mm)

サイズ呼称	d	d_A
24	2390	2225
27	2685	2520
30	2970	2805

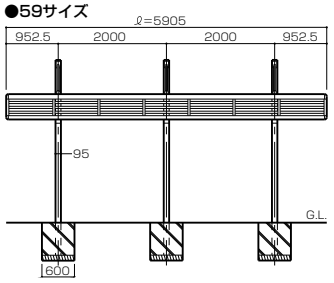
(単位：mm)

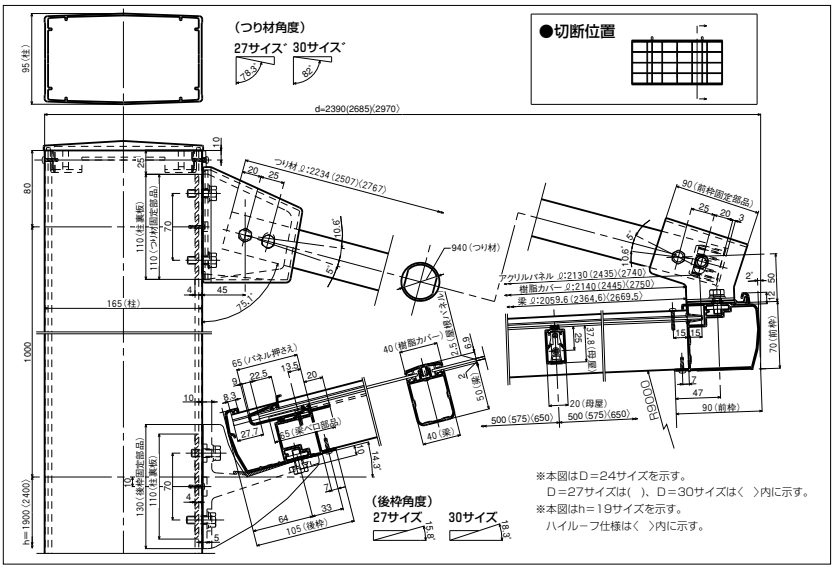
呼　称	h	h_A		
		24	27	30
標　準	1900	2286	2339	2392
ハイルーフ	2400	2786	2839	2892

●51サイズ



●59サイズ

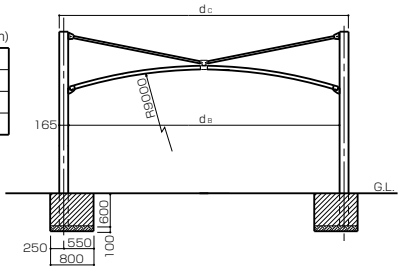




■M合掌タイプ

(単位：mm)

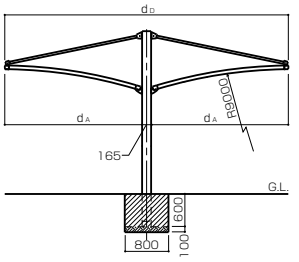
サイズ呼称	d_C	d_B
24-24	4756	4426
27-27	5346	5016
30-30	5916	5586

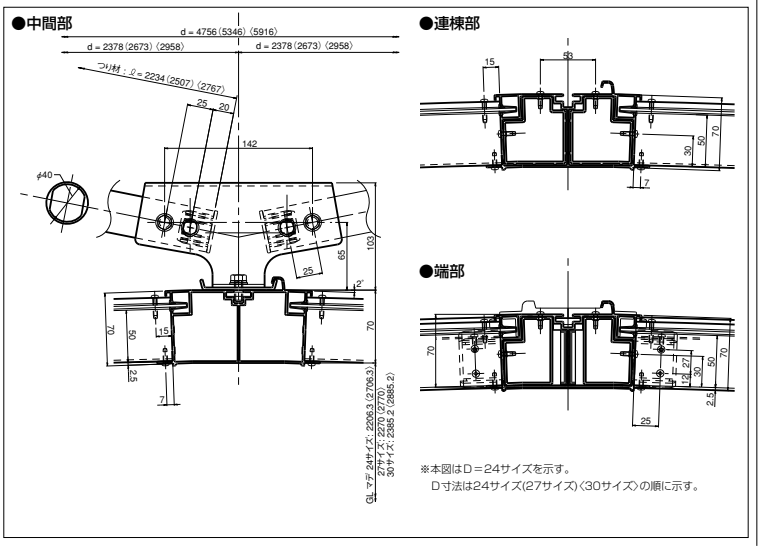


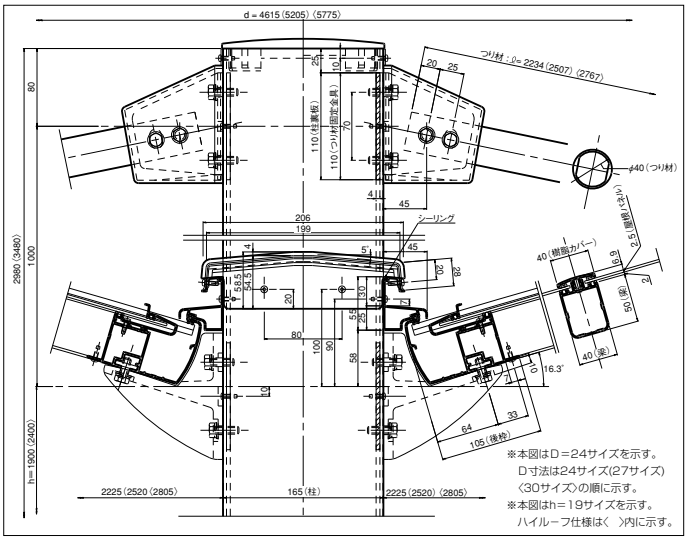
■Y合掌タイプ

(単位：mm)

サイズ呼称	d_D
24-24	4615
27-27	5205
30-30	5775

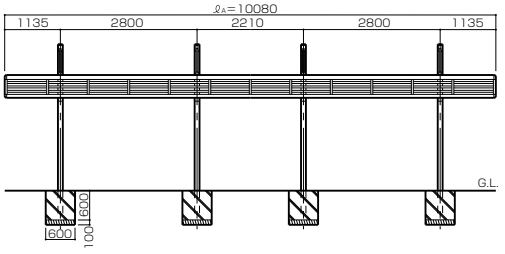
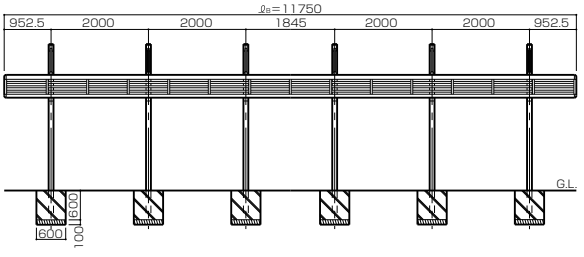
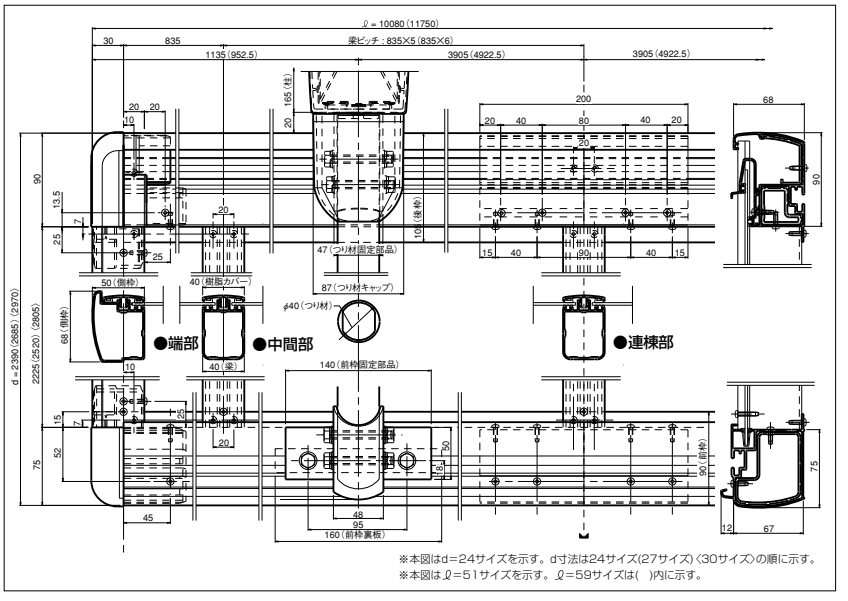






■縦連棟タイプ

●51サイズ ℓ_A=5010n+60(n：連棟数)



●59サイズ ℓ_B=5865n+60(n：連棟数)